

ゆとり、広がる 4LDK生活へ

K2 type 4LDK+ウゴクロ+WIC

- 住居専有面積 80.68㎡(約24.40坪)
- バルコニー面積 13.20㎡(約3.99坪)

広がり多くの空間が様々なライフスタイルを受けとめる
4LDKならではのゆとりある暮らしへ。
快適で自分らしい人生がここから始まります。

開取り可変システム ウゴクロ UGOCLO

ウゴクロ

「UGOCLO」は、ライフスタイルや家族構成の変化に合わせ可動収納ユニットを少しの力で移動させることで家族ビッタリの住まいを提供できる、長谷工グループが独自開発した開取り可変システムです。一人暮らしでも、ファミリーでも、それぞれのライフスタイルに合わせて手軽に、自分たちの手で自由に居室・収納の広さと使い勝手を変えることができます。



※掲載の図面は設計図書を基に描き起こしたもので、実際とは異なる場合があります。住戸により仕様・形状が異なる場合があります。なお、家具・調度品は販売価格に含まれません。

Case 01 2人家族の場合 30代夫婦

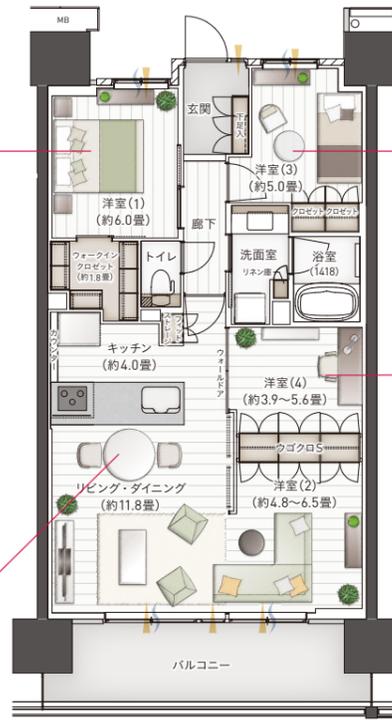


ご夫婦2人で、ゆったりと快適な暮らしを。
リビングは広々と、4つの洋室はそれぞれの
暮らしに合わせて。ゆとりある暮らしがここに。

洋室(1) 夫婦の寝室
大きなウォークインクローゼットがあるからダブルベッドもゆったり。余白のある暮らしが楽しめます。



LDK+洋室(2)
ウォールドアを開放し、隣合う洋室(2)をリビングと一体に。ワイドな空間に快適性が高まります。



洋室(3) ゲストルーム
余った部屋を両親や友人が訪れた際のゲストスペースに。上質な家具ですっきりとホテルライクな印象へ。

洋室(4) ワークスペース
リビングサイドをリモートワークの専用部屋に。カウンターデスクを置いて気軽に仕事に集中できます。



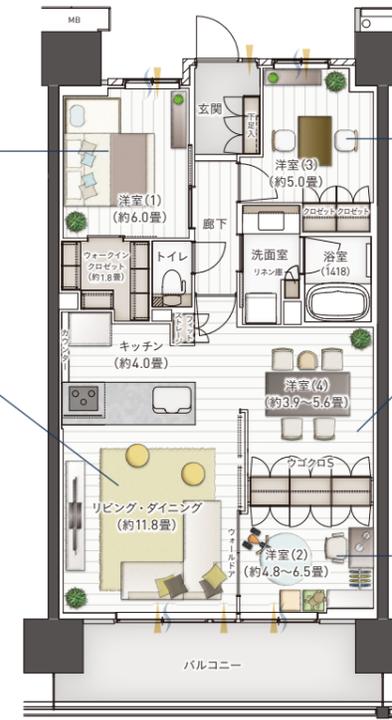
Case 02 3人家族の場合 両親:30代 娘:0~3歳



お子様が小さい時は子育て中心のスタイルで。成長に合わせて、様々な使い方ができるのもお部屋の多い4LDKの魅力です。

洋室(1) 両親の寝室
居室や収納が豊富だから寝室がすっきり。ベビーベッドを置いても余裕のある動線がキープできます。

LDK+キッズスペース
リビング自体を広々とした子育ての場として利用。高さのある家具は置かず、伸び伸び過ごせる空間に。



洋室(3) ゲストルーム
両親が来た際の宿泊スペースに。将来は子ども部屋として利用予定。

洋室(4) ダイニング
キッチンから回り込まずに行けるダイニング。使わない時はウォールドアを開けておけば、お子様がぶつかったり、椅子に昇ったりすることもなく安心です。

洋室(2) 多目的スペース
趣味の小物やおもちゃの収納場所に。ちょっとしたデスクを置けばウォールドアで独立性を確保しつつ仕事や家事などに集中できます。

Case 03 4人家族の場合 両親:40代 娘:16歳+息子12歳



個人の時も団らの時もゆとりと。家族4人全員に1部屋ずつのスペースで4LDKならではの暮らし方へ。

洋室(1) 長女の部屋
夫婦の寝室として使っていた部屋を大きくなった娘のスペースに。増えてゆく洋服はウォークインクローゼットにたっぷり収納できます。

LDK
ダイニングテーブルやソファで家族団らの場として。隣合う洋室2つは両親それぞれの空間に。



洋室(3) 長男の部屋
シングルベッドにデスクを置いて男の子らしいすっきりとした空間に。

洋室(4) 夫の部屋
寝室兼書斎として自分らしい空間づくりを。帰宅が遅くても安心。デスクを置いてテレワークも気軽に。

洋室(2) 妻の寝室
窓際の部屋を奥様の寝室兼趣味の空間に。様々な植物を置いて屋内ガーデニングも楽しめます。

Case 04 退職後の場合 60代夫婦



会社勤めも終わり悠々自適な生活へ。趣味に没頭したり、子ども家族を招いてみたり。多くの部屋をお好みに合わせて使えます。

洋室(1) 妻の寝室
壁紙を変えたり、化粧台を置いたり。お気に入りのインテリアや家具で自分らしい空間づくりが楽しめます。

LDK
ゆったりと2人で過ごす時間も大切に。ダイニングセットはコンパクトにしながらリビングをゆとりと。



洋室(3) 夫の寝室
書斎風の家具やベッドで夫の専用部屋に。自分のスタイルを重視する円熟した時にふさわしい空間です。

洋室(4) 応接間
家族共通の思い出ある家具や小物を保管。小ぶりの応接セットを置いて来客を迎える場としても。

洋室(2) 趣味の部屋
キャンプやカメラなど、趣味を満喫するための空間に。様々なアイテムを揃えた自慢のスペースとなります。

データで紐解く 4LDKの魅力

暮らしに“広がりゆとり”を求める層が増える一方で
供給の減少が続く、高価格化が進む首都圏の4LDKマンション。
この場所での価格、希少な出会いがここにあります。



マンションを購入するならやっぱり4LDK

■新居で解決したい元の住まいの課題(全体/複数回答)

1位	住宅費がもったいない	21%
2位	遮音性が低い/騒音が気になる	18%
3位	収納が狭い	16%
4位	間取り(部屋の配置・数)が良くない	16%
5位	住戸が狭い(専有面積)	14%

■住まいを探す際の重視条件(全体/複数回答)

1位	価格・家賃	45%
2位	周辺環境(街並み・公園・自然など)	38%
3位	近隣の生活利便性	37%
4位	通勤の利便性	34%
5位	部屋数・間取り	34%
6位	建物・室内の広さ	30%

※リクルート「住宅購入・建築検討者」調査2023年調べ

しかし、首都圏では4LDKの供給が減り続けています

首都圏における新築分譲マンションの供給数が減り続けるなか、4LDK住戸の割合も年々減少しています。2023年には80㎡超4LDKは約3.1%、100㎡超4LDKは約0.3%。東京近郊で上質な住環境がそろった4LDKの住まいとの出会いは、よりいっそう価値のある機会といえるでしょう。

全体の供給戸数27,250戸
その中で80㎡超4LDKは約3.1%
100㎡超4LDKは約0.3%と
供給数はとても少なくなっています!

■首都圏での新築分譲マンションの供給戸数



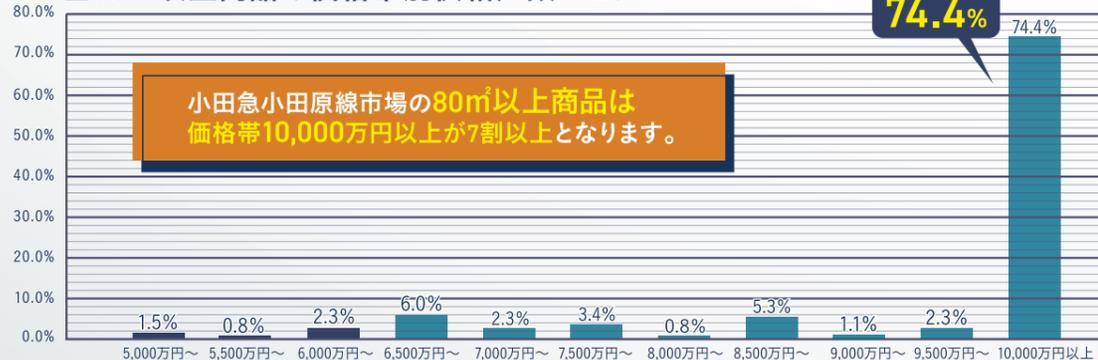
※2014年から2023年までの首都圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)の新築分譲マンションの販売戸数を集計、投資用ワンルームマンション・コーポラティブハウス・タウンハウスは除く。(Realnetマンションサマリ調べ)

小田急小田原線市場の価格帯別供給戸数シェア

■4LDK商品の価格帯別供給戸数シェア



■80㎡以上商品の価格帯別供給戸数シェア



※MRCデータ小田急小田原線「新宿」駅〜「本厚木」駅で検索および登録住戸に限る。2023年以降、新規発売物件
※対象駅は「MDS」登録駅から抽出※掲載の情報は2024年10月15日までのもので、今後の供給シェアを保証するものではありません。

ブランシエラ海老名は80㎡超・100㎡超の4LDKがこの価格!

K2 type

4LDK +ウゴクロ +WIC

専有面積 **80.68㎡** (約24.40坪)

■バルコニー面積 / 13.20㎡(約3.99坪)

販売価格 **6,200** 万円台~ ※100万円単位



L type

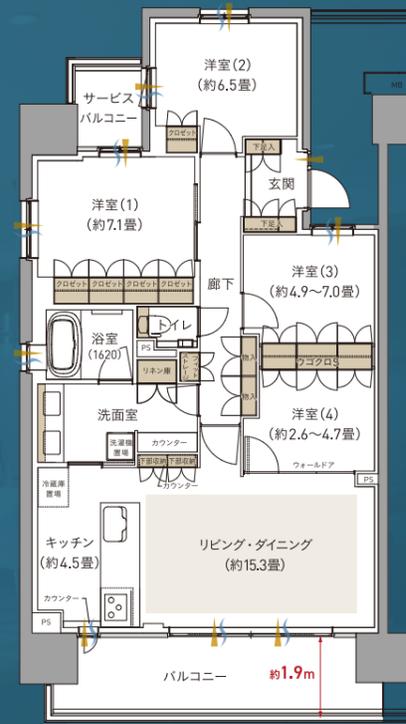
4LDK +ウゴクロ

専有面積 **100.01㎡** (約30.25坪)

■バルコニー面積 / 14.63㎡(約4.42坪)

■サービスバルコニー面積 / 3.50㎡(約1.05坪)

販売価格 **7,900** 万円台~ ※100万円単位



※掲載の図面は設計図書に基づき描き起こしたもので、実際とは異なる場合があります。住戸により仕様・形状が異なる場合があります。